

革新的技術を集約した次世代型閉鎖循環式陸上養殖生産システムの開発と日本固有種サクラマス類の最高級ブランドの創出

プラットフォーム名：水産増養殖産業イノベーション創出プラットフォーム

コンソーシアム名：陸上養殖による輸出競争力を持つ新たな国産ブランド魚の開発コンソーシアム

代表機関名：マルハニチロ株式会社

計画の概要

クラウドICT技術を駆使した革新的な閉鎖循環式陸上養殖システムと養殖廃水ゼロ化技術を組合せ、更に養殖特性の解析と高付加価値化サクラマスの専用飼料の開発により、輸出型の新たな国産ブランド魚（日本固有種のサクラマス類）を開発する。さらに「Made in Japan」の高級魚として2020年の東京五輪への食材提供を目指すとともに、日本の高品質の食材と食文化を世界に向けて情報発信し、**新たな輸出型ビジネスモデルを構築**する。

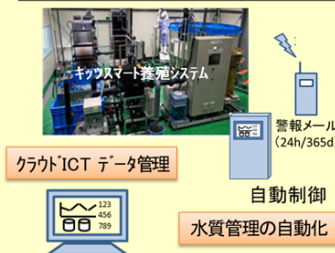
研究計画概要図

サクラマス類の養殖環境特性要素解析



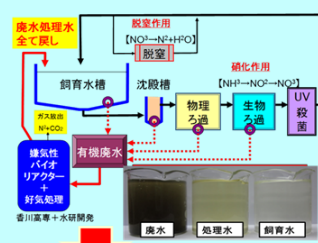
高成長・高生残の実現

革新的陸上養殖システムによるサクラマス類の養殖実証



完全管理高効率陸上養殖実証

ゼロエミッション型陸上養殖の実証



環境保全と陸上養殖が両立

高付加価値化が可能な新規飼料開発



高付加価値の養殖魚生産

国際認証化



最高級品質サクラマス類の国際ブランド化

【差別化可能要素】

- ・日本固有種
- ・身質の高品質化
- ・完全環境保全型
- ・安心・安全食材



国際マーケットでの実用化の試算・事業化評価

輸出型養殖ビジネスモデルの構築

【参画機関】

- ・マルハニチロ株式会社
- ・株式会社キッツ
- ・JXTGエネルギー株式会社
- ・JX ANCI株式会社
- ・国立研究開発法人水産研究・教育機構
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構香川高等専門学校

【目指す姿】

- ・サクラマス類の海水馴致時の歩留85%、陸上養殖生産密度100kg/m³
- ・海面養殖と比較して**人件費**（労働時間）を**25%削減**
- ・魚粉使用比率を10%削減した**増肉係数1.2以下の新規飼料を開発**
- ・国内販売サクラマス類製品価格2,500円/kg、輸出製品価格8,000円/kg（中国）を目標
- ・平成35年度までに市場規模**25億円の新産業を創出**